



ふれあい通信

謹んで新春をお祝い申し上げます。

新たな年を迎えるにあたり、会員・賛助会員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

本年も健康にご留意いただき、会員の皆様には協会活動への積極的な参加、賛助会員の皆様には史跡ウォーク・研修会への多数のご参加をお願い申し上げます。

協会発足 27 年目を迎えます。四半世紀を超える事で昨年は史跡ウォークが二百回を越えました。記念のウォークには皆様の工夫により通常と違ったウォークで好評を得成功したと自画自賛し感謝申し上げます。

また本年には「ふれあい通信」が発行三百号を迎えようとしています。26 年間欠かさず毎月の発行を続けて来られたのも編集発送にご尽力頂いた諸先輩や担当会員方々の努力と献身の賜物と感謝申し上げます。

一昨年から続いている区切りの記念事業がまさに「継続は力なり」と言う事を表しているのではないのでしょうか。継続するには何が必要でしょうか、前年の挨拶でも述べましたが、人を動かすには動機と力です。動機と力は単純です。実利か奉仕です。

実利は金や地位が約束されています。奉仕には何もありません。奉仕自体が喜びです。奉仕が報酬にならなければ人は動きません。私達の報酬とは「楽しく学んで、学びを還元する」「奉仕に対する感謝の態度と言葉」だと思います。今年も奉仕の精神で一年間を無事

過ごせますようお願い申し上げます
紙面をご覧の皆様をはじめ、会員・賛助会員の皆様のご家族の健康と御多幸を心からお祈りして新年の挨拶とさせていただきます。

二〇二五年正月 会長 山田久男

京都史跡ガイド
ボランティア協会
会長 山田久男
編集 澤田 卓



研修のお知らせ

●日時

2025 年 1 月 25 日 (土) 9 時 30 分～11 時

●場所 ひとまち交流館第 3 会議室

●「桓武天皇：造都と征夷のみかど」

講師 島田 宗人

50 代桓武天皇は、平城京から長岡京そして平安京と二度京（みやこ）を遷しました。三か所の京で政治をとった天皇です。また北に向けて数度にわたる征伐を行い、東北の経営に力を注ぎました。

“桓武”は勇猛な武王を表わし、歴代の天皇の中でも剛毅な「みかど」とされています。一方、不幸な方たちで先に逝った近親の怨霊に悩まされ、霊を祀る姿も見られます。

壮年で即位をして、京（みやこ）を造ることと蝦夷征伐を宿命づけられた天皇です。

○研修の申し込みは 1 月 20 日 (月) まで

企画研修 今井満 090-5362-8981

アドレス mitsuru_imai@kiu.biglobe.ne.jp





日本の「伝統的酒造り」が

ユネスコの無形文化遺産に

チーム華 富永正治

2024 年 12 月 5 日、日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に正式に登録されました。これで日本のユネスコ無形文化遺産は 23 件になりました。

ユネスコの評価は、「神々からの聖なる贈り物とされる酒は、祭りや婚礼、通過儀礼、社会・文化的な場などで不可欠で、日本文化に深く根ざしている」ということで、単なるアルコール飲料というだけでなく、日本文化と切っても切れない関係にあるということが評価されたのでしょうか。

アルコール飲料の製造は、麹菌などによって穀物中のだんぷんや麦芽を糖分に分解する「糖化」と、酵母によって糖分をアルコールと二酸化炭素に変換する「アルコール発酵」の二段階で行われます。(ワインは原料の葡萄に既にぶどう糖が含まれているので「アルコール発酵」工程のみ)日本酒以外では「糖化」と「アルコール発酵」が別々に行われますが、日本酒は同じタンクで同時行い世界でも類をみない高度な醸造方法であり、高アルコールの醸造酒ができるという特徴があります。

お酒はグループの団結やコミュニケーションを図る上で欠かせないツールですが、お酒を飲むと気分がよくなるのは、

① 幸せホルモンと言われるドーパミンやエンドルフィンが分泌されるから

② アルコールが人間の理性を司る大脳新皮質の働きを鈍くするからだそうです。適度の飲酒により普段は抑制されている本能的な感情や衝動、食欲、性欲などが表に現れ、精神

が高揚して本音で語り合えるようになります。ただし、深酒は体によくないし、トラブルの元にもなりかねません。また、日本を始め東アジアの民族は遺伝的にアルコールに弱い人や全く飲めない人が半数近くを占めますので、無理強い禁物です。



今年の抱負

【チーム彩】

【奥西不二】

終活、断捨離、墓じまい、の元年。願うは石崎さん、高さんの病氣平癒。

【佐々木孝之】

牛乳を飲む人より配る人の方が健康、ガイドの牛乳を配って健康で頑張ります。

【渡邊高志】

自分の時間を大切に、やらなければならない事はすぐやる。

【矢野正明】

気力、体力、記憶力減退の中で、何とか心に残るガイドに努めたいと思います。

【岸根郁郎】

楽しくまちを巡りながら、人とお話して、京都の歴史・文化を勉強できればと思います！

【高貴美子】

「えらい」より「よいにんげんになりたいな」谷川俊太郎、よいにんげんは無理でもよいひとに近づきたい…。

【岩本優美子】

今年は年女です。去年はなかなかガイドウォークに関われず申し訳ありません。一年を余裕を持って過ごせるのが目標です。

【湖城祥夫】

日々精進します。今年もチーム彩全員で集まりたいです。

【酒井源弘】

昨年は大河ドラマのおかげで、89 回ガイドしました。何故か雨に会わず？今年もよろしくお願いします。

【チーム都】

【島田宗人】

史跡ガイドも 200 回を越えましたが、“温故知新”で新体験を企画し、参加者さんと共に歩みましょう。

【李孟】

この 2 年間の歴史散歩や講座では、新たな発見が数多くあり、歴史への理解が深まりました。来年も引き続き、日本の歴史を学び続けるとともに、日本と中国の歴史交流についても探求を深めていきたいと考えています。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

【清水多美子】

全ウオークの参加を目指したい。

【草野政子】

今年もよろしくお願いします。

【谷口洋子】

今年も健康に気をつけて、京都を元気に歩き回りたいです。

【岡本 弘】

入会して1年間、多くの新しい経験と学習をさせていただきました。今年も奥深い京都を学ぶため史跡ウォーク・研修会等積極的に参加し、さらなる知識を吸収します。

【増田好彦】

昨年1年間を通して初めて見聞きし、やっと理解が深まったことが沢山ありました。今年も貪欲に新しい知識を身につけて、楽しんで活動したいと思います。

【今井 満】

京都史跡に興味をもった人に楽しく学べる場があることお知らせし、会員を目指す人を増やし、新しい人たちの叡智を頂き、さらに協会を飛躍させたい。

【チーム華】

【立川登美子】
入会以来、たまりにたまった資料を整理し、いつでも、引き出せる引き出しづくりをした
いと思います。

【前田信行】

楽しみながら、伝え方の工夫と自己研鑽を重ねてまいります。

【佐野 弘】

今年は年男・六回目巳年。我が身を風に委ねて近江の山城巡りを企んでいます。

【富永正治】

参加者の皆さんに楽しんでいただけるコース設定、分かりやすいマニュアル、喜んでいただける説明を心掛けます。

【チーム雅】

【新堀裕子】

さまざまな時代の中、人々は何を思い、どのようにして困難に立ち向かい、乗り越えて来

たのか？考えてみたいと思います。

【京極文雄】

数多くの史跡に巡りあえるよう、たくさん歩き、裏付け情報を収集します。

【秋房麻理】

日々是精進。お客様も自分も楽しく、世界が広がり勉強になる案内ができるようにがんばります。

【中川誠樹】

我が家の家訓は「重箱は隅を叩くくらいで壊れない、中身をたべよう」。おせち囲みながら、スタートしました。

【林 敏哉】

昨年は準備不足が多く、初心に戻らなければと思うこの頃、新年は心新たに頑張りたい。

【畑中智博】

史跡の知識を積み上げるとともに、理解されやすい案内方法を工夫したい、と考えています。本年もよろしくお願いします。

【古尾谷久美子】

元気に歩きたい。それだけです。いろいろ行きたい所に行ける幸せを感じています。

【富田啓史郎】

史跡で、他人様が詳細に調べられたことをいつも、ただで驚きながら知識？を深めています。薩摩守忠度です。今年もよろしく願います。

【花崎喜代子】

【石川和美】

今年もよろしく願います。

【チーム葵】

【辻横修造】

古希を迎え、常に、新たな発見を目指し活動します。チームをまとめ、意欲をもって会の運営に貢献します。

【金子喜三好】

天文学・暦学分野の知識を深めたい。

【古谷 正弘】

史跡ガイドに投入する時間を増やし、意外性があつて、お客さんに喜んでもらえるガイドを準備したい。

【澤田 卓】

今年のテーマは、春の佐渡島をサイクリングすることです。勿論史跡ガイドも頑張ります。

【遠藤 千代子】

日本の平均寿命は世界一です。これだけの長寿を許されたのですから有効に使わないと。なんて思う反面、年を明けるとめでたくもあり、めでたくもなしと思う年になりました。それならば、動ける間は貪欲にむさぼって、あがいてみたいと思ってます。

【下條 君子】

健康に気を付けながら、一步步つ前を向いて笑顔を忘れずに歩いていきたいと思っています。

【渡邊 武】

老体に鞭を打って、今年も頑張ります。

【三宅 幸男】

幅広く知識を身につけ、史跡と現代を切り結べるようにわかりやすく楽しいガイドができるよう取り組みたいです。

【今川 博明】

なかなか参加できていませんが、今年も史跡ウォークの新聞掲載とふれあい通信の原稿は頑張りますので宜しくお願いします。



親鸞聖人、終焉の地は何処（どこ）だ？

チーム彩 奥西不二

今でこそ親鸞聖人は誰もが知る存在ですが、彼が世に知られるようになったのは室町時代に本願寺中興の祖とされた蓮如上人の布教活動によるものでした。

1207年、法難に遭って親鸞聖人が越後に流され、帰洛したのは六十二・三歳ごろで、布教活動をすることもなくひたすら『教行信証』などの執筆活動を行っていました。関東の宗徒の援助で生活していたようです。そして1262年に90歳で亡くなっています。

ではどこで亡くなったのか、それがよくわからないらしい、おまけにお東さんとお西さん（東本願寺と本願寺）とでは話が違っています。その当時で言うとなら然上人ぐらいに有名な人なら記録されているのですが。

松原通り西洞院通を西に入ったところに「光圓寺」があります。注意していないと見過ごすような地味なお寺です。門前に「親鸞聖人御入滅之地」の石碑があります。このお寺は江戸時代に再建されたものですからここではなく五条西洞院あたりにあった公家の屋敷で亡くなったという話もあります。

ただ亡くなる直前に光圓寺は火災に遭い善法院に移されそこで息を引き取ったというのがお東さんの説です。その善法院はなくなりましたが現在の御池中学校のあたりにあって、学校の西側に跡地の石碑があります。これはお東さんの言うところですが。

お西さんの方は右京区山ノ内にある角坊（すみのぼう）の場所に善法院があったというのです。安政年間の調査によってのことですが。

ます。お東さんは今熊野から山科に抜ける醍醐道の途中にある延仁寺です。門前から石標をたよりに20分ほど山道を登ると石碑と親鸞聖人の銅像があります。ただ妙に新しいのでそうかな？という気がします。

お西さんの言うところは、東山の五条坂バス停から大谷墓地に登る道の途中に「お茶毘所ご案内」の木製の看板を見つけたら、案内板にしたがって墓地のなかを右に左に、階段を下ったところに「親鸞聖人火葬之古跡」石碑があります。ここが延仁寺だということです。

結局はわからない、私は浄土真宗に関心はありますが信者ではないのでどっちでもいいのですが。ちなみに親鸞聖人の大師号は「見真」で、明治になってから賜ったものです。



松原通りに面する光圓寺



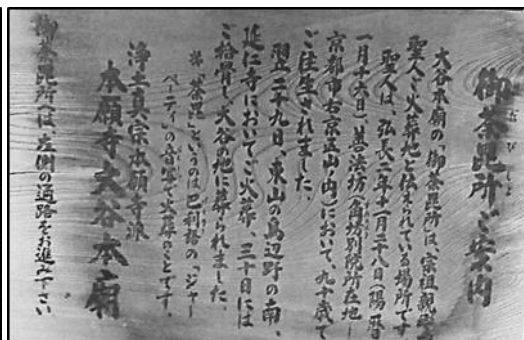
御池中学校西側の碑



大谷本廟の虎石
親鸞聖人が臨終の折に住まいされていた庭にあった虎に似た？石。
秀吉が聚楽第に移したとも…。



親鸞聖人火葬の碑



大谷墓地への途中にある案内板

201 回ウォークを終えて

―源氏物語の嵯峨野にねむる墓―

チーム都 今井 満

12月15日は、清涼寺の仁王門から臨む愛宕山の山頂は、師走でもありほんのり雪を被った肌寒い朝でした。

集合場所の清涼寺までの途中に、案内する会員が配置できなくて、迷われた方には、ご迷惑をおかけしました。それでもお越しいただいた方には、「ありがたい」と感謝します。NHKの「光る君へ」もあって光源氏のモデルの一人源融の墓を始め、源氏物語の息子の夕霧に因んだ太夫の墓地址、源融の父母が建立した寺院や姉の墓、物語では重要な六条御息所母娘が潔斎した野宮神社、明石の姫君が過ごした大堰邸推定地などを巡りました。



併せて、清涼寺にある豊臣秀頼の首塚と叔父である豊臣秀次の首塚などを訪ねると、初めて知ったという声を多く聞きました。ウォークをした嵯峨野の紅葉の多くが枯れて散ってしまっていたのが残念でしたが、トブルもなく終われ安堵しています。来年は3月16日の、チーム葵のウォークが皮切りになりますので、ご期待ください。

『驚き、桃の木、明治の記』

④平岡円四郎（後編）チーム葵 今川博明

平岡は將軍跡継ぎ問題で、越前藩主・松平春嶽、側近の橋本左内、それに薩摩藩主の島津斉彬、家臣の西郷隆盛らと一緒に奔走します。

しかし、待ち構えていたのが井伊直弼の徳川家茂の擁立と安政の大獄でした。慶喜の擁立に失敗した円四郎も江戸から追放されます。桜田門外の変で井伊直弼が暗殺されると、慶喜が一橋家に戻り、円四郎も江戸へ呼び戻されます。慶喜は家茂の將軍後見職に任じられ、円四郎も再び慶喜の信頼を得て一橋家家老並みに任じられます。

円四郎の京都時代の成果は、渋沢栄一を一橋家の士官として採用したこと。栄一が攘夷派の志士として徳川幕府の破壊活動を企てていたのを、彼が改心させたのです。

慶喜や円四郎は、いますぐ外国人を日本から閉め出さなくても、日本の自主独立を守るという形での攘夷を考えており、渋沢もこの考えに納得したのでしよう。

円四郎と渋沢が出会わなければ、資本主義の父の誕生はなかったのです。

円四郎の死は突然でした。彼の宿所だった京都町奉行所与力長屋で水戸藩士の数名に暗殺されます。

理由は、水戸藩に生まれた慶喜が外国人を追い払わないのは、円四郎が彼をそのかし、攘夷派を退けているからだと思われたからでした。

慶喜は同じ水戸藩士に円四郎が惨殺されたことはとてもショックだったと思います。重要な側近を亡くした慶喜は一人で幕末を迎え、大政奉還、王政復古という時代に引きずり込まれていくのでした。



しまなみ海道をサイクリング

賛助会員様へお願い

ふれあい通信を発行して、この3月で第300号となります。そこで賛助の方からも投稿を頂けましたら嬉しく思います。

テーマはご自由ですが、思い出のウォーク、京都への思いや今後のご希望先などございましてお知らせ願います。

サイズは20文字×32行まででお願いいたします。短くても結構ですよ。

面白発見

カニ注意の標識

チーム都 今井 満

旅好きで日本全国廻っていて。いろんな標識があります。

高速道路では、動物の飛び出しを喚起させる「鹿」や「狸」の絵は、よく見ます。

ビックリしたのは、沖縄の宮古島を訪れた時に、左記の「カニ注意」の標識には目を見張りました。なんでも道路を横断するヤシガニを轢くとスリップする為だそうです。



全長 3 5 4 0 m
伊良部大橋
海がきれいです。

宮古島は、サンゴ礁が隆起してできたので海も浅く、長大の伊良部大橋も有名です。



「洛中洛外図屏風」――

国宝舟木本はこんなにも面白い

チーム華 富永正治

洛中洛外図屏風は、京都の市中（洛中）と市外（洛外）の風景を高い位置から見下ろすように描いた絵で、一般に6枚を連結した左右2枚の屏風仕立てになっており、これを六曲一双といいます。描かれ始めたのは室町時代後半からで、江戸時代を通して数多く制作され、170点余りが現存しています。

描き込まれているのは、天皇が暮らした内裏や寺社、町屋などの建物はもとより、2千人以上の人々が活き活きと描かれ、店棚、銭湯、祭り、年中行事、子供の遊びなど、庶民の生活や風俗も多彩に描かれています。洛中洛外図屏風からは、繁栄する当時の京都のさまざまな姿を読みとることができます。

その中でも舟木本は飛びぬけて個性的で俗っぽい屏風で、1949年、美術史家の源豊宗によって滋賀県長浜の舟木家で発見されたのでこの名があり、2016年国宝指定されました。作者は織田信長に謀反して一族を処刑された戦国武将・荒木村重の子、岩佐又兵衛（1578～1650）と言われています。

右隻の右端には豊臣の方広寺大仏殿を大きく描き、左隻の左端には徳川の二条城を置いて対峙させ、その間には上京・下京、洛東の町並が広がっています。

総勢2728人を数えるさまざまな階層や職業の人々を活き活きと描き、当時の生活・風俗、芝居や花見、遊里、祭りの様子を詳細に描写しています。写真もビデオもなかった当時の人々の生活や風俗を知ることができるたいへん楽しい屏風です。



図は東本願寺の北にあった六条三筋町の遊郭で踊り狂う遊女と品定め(?)する男たち（右隻第六扇下部）。恥ずかしいのか男たちは傘や衣の裾、扇で顔を隠しています。